

成長戦略

成長分野での事業拡大に加え、アライアンスを中心とした競争力強化により、再投資可能な収益力を実現します。早期に健全な財務体質を構築するとともに、国内需要の漸減など環境変化が起こるなかで変化に強い事業ポートフォリオを構築し、長期的な企業価値向上を実現していきます。





石油開発事業

人口増加で世界的な石油需要の堅調な推移が見込まれるなか、コスモエネルギーグループは、約50年間の安定生産に基づく中東産油国との強固な信頼関係を基盤に、競争力の高い石油開発を行っています。2017年度半ばからはヘイル油田が生産開始するとともに、長期的には新規鉱区獲得で生産量拡大をめざします。

P.19～20参照



石油精製販売事業

千葉製油所における東燃ゼネラル石油（現JXTGエネルギー）との合弁会社設立、四日市地域における昭和シェル石油グループとの事業提携などにより競争力の強化を図っています。また、石油販売事業については、キグナス石油との資本業務提携契約の締結などアライアンスによる競争力強化を図っています。

P.21～22参照



リテール事業

ガソリンや軽油などの9兆円に加え、今後は車両販売や車検、保険などを含めた36兆円もの巨大なカーライフ市場全体がターゲットとなります。SSの強み（来客頻度、カード会員数など）を活用し、個人向けカーリース事業を核とした「カーライフ価値提供業」へ転換することでSS収益力の更なる強化をめざします。

P.23～24参照



石油化学事業

韓国ヒュンダイオイルバンク（HDO）との合弁会社ヒュンダイ・コスモ・ペトロケミカル（HCP）にて省エネルギー改造工事などによるコスト削減に取り組むとともに、連結子会社化した丸善石油化学と製油所のシナジーを追求することで競争力の強化を図っています。

P.25参照



再生可能エネルギー事業

環境対策などにより風力発電事業は市場の拡大が見込まれます。20年間の固定価格買取（FIT）制度を追い風に、日本初の風力発電専門会社であるエコ・パワーのノウハウを活かして、運転中サイトの高い利用可能率の実現とともに、新規サイトの開発により、更なる発電能力の増強をめざします。

P.26参照

